

教育・・・お金をかけるべきところはここ！

学童での避難訓練と 33 49 責任者配置が実現	平成19年に初めて提言。23年、震災後に2度目の指摘で実現！ (ことが起こらないと動かない典型のようで極めて残念。)
学校敷地内禁煙が実現！ 49 54 57	全国的には、校内でタバコを吸わないことが当たり前ですが、川越では校舎の裏や倉庫の陰、用務員室、更衣室、給湯室などで吸っていました。副流煙はタバコを吸わない他の利用者にも受動喫煙を強いることになり、教育上も望ましくないと指摘。26年に県の指針見直しにより実現！
学校給食の自校化を提言 46 53	自校調理化のメリットとして、食べ残しが減る、適温給食が可能、きめ細かいアレルギー対応、食育の充実、防災拠点として有効な機能、食中毒が発生した場合に被害を最小限に出来る等が挙げられること、少子化でセンター方式のメリットが減ること等を訴え、多くの自治体同様に自校調理化への方針転換を求めましたが、コストが高いと方針転換には至っていません。
教育委員会の現状を指摘 61	多くの市と異なり、会議の回数も少なく(平均月13回)、時間も短い(平均60分)、委員が議題を知るのは会議の1時間前、教育委員会の事業を点検評価する評価委員は身内ともいえる退職教員中心という現状を指摘し、改善を求めました。現在、一部は改善を約束し、一部は検討中。
学校修繕予算の 現状について指摘 64	多くの学校で複数の雨漏り等があり、毎年300件以上の修繕要望がある中、10%~20%しか予算が確保されない現状は問題と指摘。財政部には教育費の増額を、教育委員会には予算要求時のマネジメントを求めました。本誌64号の表紙面をご参照下さい。

その他・・・川越市には、まだまだ問題山積！

屋根貸し事業で 災害時電力の確保を 55 64	屋根貸し事業は、公共施設の屋根を太陽光発電事業者に貸す事業で、業者との契約条件に災害時の電力供給を入れることで、災害時に学校など避難所の電力を無料で確保出来るなど多くのメリットがあると提言し、今後、設置可能施設の調査が行われます。事業化への第1歩。
ジェネリック医薬品 利用差額通知実施へ！ 56	ジェネリック医薬品は特に医療費削減効果が高いとして国でも積極的な使用促進策に努めていますが、患者に対する情報提供が少なく普及が進んでいません。そこで、本市でも薬をジェネリックに切り替えた場合の差額を患者に通知するサービスを実施すべきと提言。27年度から実施予定。
公園等でのペットの 60 利用ルールを提言	子どもの数よりペットの数が多い現在、衛生面等を考慮し、芝生公園等、一定の場所では利用場所を分ける取り組みを提言。検討中。
職員の電話&窓口対応 マニュアル作成を提言 62	電話では、たらい回しにされる、用件を何度も言わされる、名乗らない、窓口では、口調が横柄、相手によって態度を変える等の指摘も多いため、電話や窓口の対応マニュアルの作成等を求めました。検討中。
放置自転車防止対策 の現状について指摘 58	放置自転車防止対策予算は年間約3200万円で、その7割弱が、シルバー人材センターへの自転車置き方指導業務委託料です。しかし実際は、置き方指導ではなく放置自転車に警告札をつける係りになっていると指摘し、抜本的な見直しを提言。現在、新たな指導研修方法が提示され実施中。
上下水道事業への 指摘と提言 62 23	市の水道水は、埼玉県との約束で90%の水を県から買っていますが、川越は比較的地下水が豊富であり、地下水の量をあと5%増やすだけで約1億円のコストが削減出来ると試算し、地下水の割合を増やすべき、県と交渉すべきと問いました。市は、県との信頼関係という問題もあると答弁。 下水道事業は、建設費用を借金と内部留保で補填している現状で、将来の下水道施設の更新を考え、まちづくりから考える必要があると指摘。

議会改革・・・4年前との主な変化

参考：4月25日号の川越市議会だよりに議会改革について記載あり

☆災害時対応の整備→市議会で災害対策本部の設置要領を作成 ☆議案等をインターネットで公開し情報公開を推進
☆タブレット端末導入→経費削減 ☆議会基本条例の必要性を検討するも各会派の意見まとまらず→59

◎ 私の政務活動費は、毎年度内訳までこの紙面上(53号57号61号)で報告しました。(領収書は議会事務局で閲覧可)



川越市市議会議員選挙 期日前投票のお知らせ

- ①市役所本庁舎 4月20日～25日 8時半～20時
- ②アトレ6F 4月22日～25日 10時半～19時
- ③西文化会館と高階市民センター 4月22日～25日 9時半～19時

そうだ、

<http://www.kawaguchi-keisu>

投票に行こう!

uke.net